

北海道医師会役員等選挙 候補者所信用紙

ふりがな 氏名	まつか はるみち 松家 治道	
候補者たる 役職名	会長候補者	
所属郡市 医師会	札幌市医師会	

[経歴]

昭和47年 4月 北海道大学医学部第一内科 入局
 昭和49年 4月 北海道社会保険中央病院 勤務
 昭和49年10月 北海道大学医学部第一内科 勤務
 昭和52年10月 松家内科小児科医院 勤務
 平成11年 8月 同院 院長

[役職]

平成 9年 4月～平成21年 3月 札幌市医師会理事
 平成21年 4月～平成25年 3月 札幌市医師会副会長
 平成25年 4月～令和 3年 6月 札幌市医師会会長
 平成25年 4月～令和 3年 7月 北海道医師会理事
 令和 3年 7月～現在 北海道医師会会長
 平成25年 4月～平成26年 6月 日本医医師会代議員
 平成26年 6月～平成28年 6月 日本医師会監事
 平成28年 6月～令和 4年 6月 日本医師会代議員
 令和 4年 6月～現在 日本医師会理事

[所信]

平素より北海道医師会の諸事業に多大なるご理解、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、この度、北海道医師会長として3期目の立候補を決意いたしました。これまでの2期にわたり、自分なりに地域医療の充実と医師の働きやすい環境の確保に向けて尽力してまいりました。未だその道は半ばであり、次期においても、さらなる進化を目指し、郡市区・医療機関医師会会員の皆様と共に北海道の医療を守っていく所存です。

幅広く苦難をもたらしたコロナ禍に続き、昨年の診療報酬改定の影響により、医療機関の経営は厳しくなり、さらには幅広い物価価格の高騰及び人件費の増大により、多くの医療機関は今消滅の危機にあります。このような状況に対し当会は日本医師会と力を合わせ次期診療報酬改定でのアップ並びに行政等からの補助金等の獲得に注力していきたいと考えております。そのためにも喫緊の課題として医師会組織の強化特に会員数の増強に努めてまいります。

またこれまで以上に各地区医師会を訪問させていただき、地域の状況を理解し各地の支援に役立ててまいります。さらには、昨年からは始まった医師の働き方改革による地域の救急災害医療に対する具体的な影響、現場の先生方への負担等問題点を精査し対応をしてまいりたいと思います。また政府が押し進める医療DXについても、拙速に進められることにならぬよう、日医に働きかけてまいります。

そしてこれからの医療を担っていく医学生、若手医師の医師会への理解・参加を図り、これからの北海道の医療を支える人材育成に努めるとともに、道民の皆様が安心して暮らせる社会の実現を目指し、介護や福祉との連携をさらに強化していきます。

私は、医療を通じて地域社会に貢献するという使命を胸に、3期目も北海道医師会長として職責を全うする覚悟です。この立候補に際し、皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。